

はちのへ文化のまちづくりプラン推進状況一覧

<施策1>ふれる・ふかめる～文化芸術に親しむ～

【施策の基本的な考え方】

1. 市民による主体的で多彩な文化芸術活動の振興と文化芸術に親しむ環境づくり
2. 教育現場や地域において子どもたちが文化芸術に親しむ環境づくり
3. 文化施設における、鑑賞、参加・体験、創造の場など文化プログラムの充実

○取組方針1 市民による多彩な文化芸術活動振興のための仕組みや枠組みの構築

① 現在取り組んでいる主な事業

文化協会補助金、文化団体等出演補助金、演奏会補助金、先駆的・実験的取組を支援するはちのへ文化のまちづくり推進事業補助金などの財政支援を通して市民による文化芸術活動の振興。

② 今後の方向性の現状と課題（実施済み／一部実施済み／検討中／未着手 以下同じ。）

ア) 市民による文化芸術活動の振興に関する補助や支援制度の充実／検討中

- ・はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金の補助対象の見直しや補助上限額を増額する方向で制度内容を検討中（文化創造推進課）

イ) 文化芸術団体等と連携した文化芸術活動の認知や参加の輪を広げるための機会創出の検討、開催支援（アートフェスティバル等）《新規》／未着手

- ・青森アートミュージアム5館連携協議会の中で2024年度に芸術祭を実施する方向で検討が進められているが、これに併せて中心街地等において別府アートマンスを参考に市民主体のアートフェスティバルを企画する案があるが、具体的には施策6の八戸アートプラットフォームの中で検討を進める予定。（文化創造推進課）

ウ) 文化芸術の振興に資する活動への表彰制度の見直しの検討《新規》／未着手

- ・当該文化のまちづくりプランに基づく市民活動の推進のインセンティブとなるような表彰や、他都市、スポーツ等の他分野の制度を参考に、現行の推薦制に限定しない表彰制度を検討。（文化創造推進課）

○取組方針2 子どもたちの文化芸術の鑑賞や学びの機会の充実

① 現在取り組んでいる主な事業

八戸イカール国際音楽祭、小中高校連携事業（美術館）、八戸大使ふるさとセミナー、子育てつどいの広場事業などを通して、子どもたちへの学びの機会の充実を図っている。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 文化施設が行う鑑賞機会の充実、教育普及（ラーニング）プログラムのメニュー化による周知や、幼稚園や学校、地区公民館に出向いて行うアウトリーチ型事業の実施／実施済み

- ・パフォーミングアーツ事業実施の際、希望する学校にアーティストが出向き授業を実施（八

戸ポータルミュージアム（以下「はっち」と表記。）」

- ・小・中学校が要望するテーマに応じ、学芸員が実物資料を持参し講義や体験学習を実施（博物館）

イ）美術教育について教員と美術館学芸員が共同研究し、企画段階から効果的な教育普及（ラーニング）プログラムを实践する美術館学校連携事業／実施済み

- ・小中高の教員、専門家、美術館学芸員による学校連携プロジェクトチームを立ち上げ、絵画制作プロジェクトや作品づくりプロジェクトを実施（美術館）

ウ）幼児教育（保育）施設や学校等での活動を希望する文化団体や文化芸術活動者の見える化と、文化芸術の体験や鑑賞、部活動での人材活用を希望する学校とのマッチング事業の実施「再掲・施策 6(1)関連」／検討中

- ・施策 6 の八戸アートプラットフォームの中で検討を進める予定。また、市教育委員会も中学校の部活動の地域移行にかかる検討会議を立ち上げたことから連携して取り組む（文化創造推進課）

○取組方針 3 文化施設の文化プログラムの充実と連携

① 現在取り組んでいる主な事業

美術館、はっち、ブックセンター等での各種企画事業、指定管理者の企画による文化事業、地区公民館運営事業、博物館による出前講座・出前授業・展示解説、古文書解説講習会など、各施設の特色を活かし取り組んでいる。

② 今後の方向性の現状と課題

ア）鑑賞、参加・体験、創造・発信型プログラムや、教育普及（ラーニング）プログラムの充実、学校や地域に出向いて行うアウトリーチ型事業の実施等に関する施設特性に応じた検討、実施／一部実施済み

- ・各施設において取り組んでいるが、更なる拡充を検討する必要がある（文化創造推進課、美術館、はっち、社会教育課、博物館、図書館、是川縄文館）

イ）施設間連携のための仕組みづくり「再掲・施策 6(1)関連」／検討中

- ・連携に向けた体制づくりを検討（文化創造推進課・ブックセンター・美術館・はっち）

ウ）教育旅行の誘致や文化施設と商業機能の連携した取組の実施「新規」／一部実施済み

- ・企業等と連携し実行委員会形式で実施した「まるごと馬場のぼる展」（美術館）
- ・ホテル等、経済分野への働きがけをすることを検討（VISIT はちのへ）

エ）文化施設の適切な維持補修やバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組／一部実施済み

- ・施設の維持補修、修繕には多額の経費を要することから、予算確保の方策を検討が必要（文化創造推進課、美術館、はっち、博物館、図書館、是川縄文館）

<施策2> つくる・いどむ～新たな創造への取組

【施策の基本的な考え方】

1. 地域課題の解決や地域の潜在力や魅力を引き出すアートプロジェクトの実施
2. 文化芸術とクリエイティブビジネスとの連携による双方の振興を図る
3. よりクリエイティブに文化芸術（事業）の発信力を高める取組の実施

○取組方針1 「アートのまちづくり」の推進と文化創造へのチャレンジ

① 現在取り組んでいる主な事業

先駆的・実験的取組を支援するはちのへ文化のまちづくり推進事業補助金、うみねこ演劇塾、はっちA I R事業、美術館アートプロジェクトなど、多方面からのアプローチにより市民による文化芸術活動の振興を図っている。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) はっちのレジデンス機能を活用した、アーティスト、クリエイター、リサーチャー、ライターなどによるレジデンス事業／実施済み
- ・各施設において取り組んでいるが、更なる拡充を検討する必要がある（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち）
- イ) 市外からのプロフェッショナル人材と地域人材との交流・市民参加によるダンスや芝居などの実演芸術・劇場文化の創造と発信／一部実施済み
- ・はっちのパフォーミングアーツ事業における実演芸術の発信（はっち）
 - ・他都市の事例等を参考にしながら、ホール（公会堂、南郷文化ホール）での創作プログラムの実施を検討中（文化創造推進課）

○取組方針2 クリエイティブビジネスの振興

① 現在取り組んでいる主な事業

八戸ブックセンターにおける出版事業の検討や、大学による「アート思考・デザイン思考」実践講座事業の実施など。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 先進事例等の調査によるクリエイティブビジネス振興策の検討<<新規>>／検討中
- ・美術館などで制作する企画展図録等をブックセンターで出版、販売することを検討中（ブックセンター）
- イ) 産業、観光等、他分野との地域文化の持続可能性を高める取組の推進<<新規>>／未着手
- ・施策6の八戸アートプラットフォームの中で検討を進める予定。（文化創造推進課）

○取組方針3 発信力強化とファンづくり

① 現在取り組んでいる主な事業

文化施設情報を集約した「八戸アート情報」を、チラシ、新聞広告、市HPへの掲載により周知、オンラインチケットサービスの試験的導入

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 八戸地域の文化芸術に関するイベント情報の多様な情報媒体を活用した発信「新規」／検討中
 - ・各施設単位では情報発信しているが、文化情報のポータルサイトの構築に向けて検討する（文化創造推進課）
- イ) 実施されたイベント内容や文化芸術に携わる人等にスポットを当てた情報誌の発行「新規」／検討中
 - ・他都市の状況を調査し、施設の枠を超えた総合的な情報誌の発行について検討中（文化創造推進課）
- ウ) チケットのインターネット販売の導入「新規」／検討中
 - ・観覧者の利便性向上のため、システム導入を検討中（文化創造推進課、美術館）

<施策3> まじる・まざる～文化芸術による共生～

【施策の基本的な考え方】

1. 年齢、障がい、外国人等、全ての利用者にとって優しい施設となる環境づくり
2. 障がい者や外国人等への鑑賞、参加・体験、創造の機会の場など文化芸術活動における社会包摂機能の発揮
3. 文化芸術をきっかけとした国際交流の取組の推進

○取組方針1 共生社会の実現に向けた環境づくり

① 現在取り組んでいる主な事業

市公民館のホール座席段差解消・トイレ改修工事、ホール（公会堂、市公民館、南郷文化ホール）座席の抗菌・抗ウイルス作業実施、美術館多目的トイレ設置、点字案内板設置、車椅子に配慮した水飲み機の設置、性的マイノリティへの対応可能なトイレ設計など、利便性と安全性が高い環境整備を実施。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 文化施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組／一部実施済み
 - ・未整備や追加で必要性が生じた場合は、計画的に整備していく（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち、図書館、博物館、是川縄文館）
- イ) 文化施設における案内や解説等の多言語化対応の推進／未着手
 - ・未対応の箇所については、計画的に対応していく（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち、図書館、博物館、是川縄文館）
- ウ) 外国人住民に向けた地域の文化イベントや文化財に関する情報提供／未着手
 - ・施策2の情報発信とファンづくりの取組において実施予定（文化創造推進課、社会教育課）
- エ) 障がい者の鑑賞等におけるバリアフリーの検討「新規」／未着手
 - ・他都市の調査や福祉関係者にヒアリング等により、今後、ホール指定管理者とともに事業実施に向けた具体的な検討を行う（文化創造推進課）

○取組方針２ 社会包摂の取組の推進

① 現在取り組んでいる主な事業

美術館ジャイアントルームの自由利用の促進、子育てつどいの広場事業「オレンジデー」の実施、NHK ハート展の実施、愛の輪レクリエーション事業補助金による財政支援、日本語教育支援事業などに取り組んでいる。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 文化施設のサードプレイスとしての運営、居場所づくり／一部実施済み

- ・利用者ニーズを聞くなどして、施設の運営方針等の見直し等を検討する（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち）

イ) 障がい者による文化芸術の鑑賞や参加、創造活動の充実を図る取組の推進や文化芸術を通じた交流等の促進《新規》／未着手

- ・他都市の調査や福祉関係者にヒアリング等を行い、今後、実施に向けた検討を行う（文化創造推進課、美術館等）

ウ) 外国人住民が地域文化に理解を深める機会の創出やホスピタルアートなどの文化プログラムを検討《新規》／未着手

エ) 社会包摂的文化プログラムの実施にかかる専門人材の確保、育成《再掲・施策 5(1)関連》／未着手

- ・施策 6 の八戸アートプラットフォームの中で検討を進める予定。（文化創造推進課）

○取組方針３ 文化芸術を通じた国際交流の推進

① 現在取り組んでいる主な事業

三陸国際芸術祭事業、青少年海外派遣交流事業などを実施

③ 今後の方向性の現状と課題

ア) 三陸国際芸術祭の推進／実施済み

- ・今後も、伝統芸能を入口にした三陸とアジアの国際交流事業を実施していく（文化創造推進課）

イ) 美術館やはっち等の展覧会企画やA I Rを通じた外国人アーティストの招聘／未着手

- ・外国人アーティストとの交流は異文化理解の契機であり、また「外」からの刺激は思いがけない気づきや新しいものを生み出す機会となることから、検討する（美術館、はっち）

ウ) 市民主催の外国人アーティスト招聘事業等の支援《新規》／一部実施済み

- ・これまで、個人が、多文化都市八戸推進補助金（現：はちのへ文化のまちづくり推進補助金）を活用してフィリピンからアーティストを招聘し実施した事例があるが、制度内容や支援策の見直しを検討する（文化創造推進課）

<施策4>のこす・いかす～伝統の継承と活用～

【施策の基本的な考え方】

1. 是川石器時代遺跡の未来に向け新たな価値を追求し活用する取組を推進
2. 生活文化や伝統文化等に触れられる体験機会の創出、発信の取組を推進
3. 文化財の保存と活用を通して、市民や観光客等が文化財の価値を正しく認識し、親しむ機会の充実を図る

○取組方針1 世界遺産・是川石器時代遺跡の適切な保存と価値の伝達

① 現在取り組んでいる主な事業

世界遺産保存活用、世界遺産PR事業（旅行誌等記事掲載、ラッピングバス、小学校副読本作成）、特別展・企画展での教育普及事業、縄文の里整備のほか、DMO一般財団法人VISIT八戸において観光誘客に取り組んでいる

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 史跡是川石器時代遺跡整備基本計画の推進／実施済み

- ・整備検討委員会の開催、大学との共同研究の実施（金沢大学との共同研究を予定）（是川縄文館）

イ) 小中学生や市民を対象とした縄文の生活体験、縄文の工芸体験・道具づくりをはじめとした各種講座や実体験などの教育普及事業の充実／一部実施済み

- ・体験教室やリモートを含む講演会を行ったが、さらに内容を充実させる（是川縄文館）

ウ) 観光地域づくり法人の（一財）VISITはちのへと圏域事業者で取り組む、観光客の来訪・滞在促進を図る誘客プログラム（観光商品）の充実及び情報発信「新規」／実施済み

- ・英・仏・台に現地エージェンシーを配置し、そのエージェンシーを通じて現地旅行会社やメディア等へ八戸圏域の魅力をPRするなど認知拡大を図るための活動実施（観光課）

○取組方針2 地域に根ざす文化の継承と発展

① 現在取り組んでいる主な事業

八戸小唄まつり事業補助金、南部昔コ語り部養成講座、南郷ジャズフェスティバル開催事業、八戸三社大祭関連事業、八戸えんぶり関連事業、物産販売促進事業、農業ブランド育成事業（伝統野菜関連事業）、郷土食・行事食を取り入れた学校給食の提供など、多分野にわたり取組を推進している。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 伝統文化の現状に関する悉皆調査とデータベース化及び調査を基にした伝統文化継承における課題の抽出と対応の検討／検討中（一部）

- ・八戸地方えんぶり調査事業実施予定（社会教育課）

イ) 八戸三社大祭、八戸えんぶりなど担い手側へのハード・ソフト両面からの参加しやすい環境づくりの推進「新規」／一部実施済み

- ・山車人形衣装修理事業、八戸三社大祭・八戸えんぶりの開催にかかる活動経費の補助を実施しており、継続実施していく（観光課、社会教育課）
- ウ）伝統文化の新たな価値を追求し継承を図る取組への支援《新規》／一部実施済み
 - ・民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化を図るための公演会や、各地域に残る無形民俗文化財を後世へ継承するため補助金による支援を実施しており、継続実施していく（社会教育課）

○取組方針3 文化財の保存と活用

① 現在取り組んでいる主な事業

南部氏庭園事業、清水寺観音堂保存修理事業、名勝種差海岸保護事業、天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保護事業、古文書の解読整理、埋蔵文化財の保存・活用事業など、多岐にわたり取組を推進している。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア）当市文化財の総合的な保存・活用に係る計画の策定《新規》／検討中
 - ・史跡長七谷地貝塚及び史跡丹後平古墳群の保存管理計画の策定、史跡環境整備計画の策定を実施予定（社会教育課）
- イ）ユニークベニユーの検討《新規》／検討中
 - ・国の登録文化財「更上閣」でのガーデンレストラントライアル事業の実施（文化創造推進課）
- ウ）博物館等の文化施設における小中学生を対象とした体験学習などの開催／実施済み
 - ・博物館では館内での体験学習や、学芸員が学校に出向いて行う出前授業など、ニーズに合わせた学習を提供しており、継続実施していく。（博物館、是川縄文館）

<施策5> つなぐ・ささえる～担う人・支える人の確保・育成～

【施策の基本的な考え方】

1. 文化政策において求められる幅広い専門人材の確保と育成
2. 中間支援機能を持つアート NP0 やアーツカウンシル等の設立に向けた支援
3. 文化ボランティアなど多様な担い手・支え手が活躍する環境づくり

○取組方針1 専門人材の確保、育成

① 現在取り組んでいる主な事業

民俗芸能のタベ開催事業、無形民俗文化財後継者養成補助金、古文書解読講習会を実施。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア）文化継承や文化創造に係る取組をより充実させるための専門人材の確保・育成《新規》／検討中
 - ・文化政策の推進に必要なスキルを持った専門人材の確保・育成を検討中（文化創造推進課）

- イ) 社会包摂的文化プログラムの実施に係る専門人材の確保・育成<<新規>>/検討中
 - ・ホールでの舞台芸術事業の企画立案、事業のコーディネートができる専門人材の確保を検討中（文化創造推進課、はっち）
- ウ) 生活文化、方言、伝統文化、文化財に係る専門知識・技能を有する人材の確保・育成<<新規>>/未着手
- エ) 学校等へのアウトリーチ事業に係るコーディネーターの育成<<新規>>/検討中
 - ・アウトリーチ事業の企画立案ができる人材の確保・育成を検討中（はっち）
- オ) 大学等と連携した専門人材育成プログラムの検討<<新規>>/未着手（文化創造推進課）

○取組方針２ 中間支援機能の強化

① 現在取り組んでいる主な事業

各文化施設において市民等の活動を支援する中間支援的取組は実態としてあるものの、求められる役割や機能を明確にした取組となっていない。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 民間文化団体の中間支援機の充実や中間支援型組織の設立・活動支援のための検討<<新規>>/検討中
 - ・施策６の八戸アートプラットフォームの中で検討を進める予定。（文化創造推進課）
- イ) 公共文化施設における中間支援組織型の取組の充実（はっちの協働や拠点づくりなどの取組）<<新規>>/検討中
 - ・各種講座等を実施するなど、検討を始めている（はっち）

○取組方針３ 文化ボランティアの活動振興

① 現在取り組んでいる主な事業

美術館のアートファーマー、はっち・博物館・是川縄文館のボランティアガイドのほか、はっちの事業である「まちぐ（る）み」事業を実施。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 各文化施設のボランティア研修の実施やボランティアによる自主的活動への支援/実施済み
 - ・ボランティア研修は全施設で実施しており、自主的活動が活発になるよう支援内容を検討していく（美術館・はっち・博物館・是川縄文館）
- イ) 市民集団「まちぐみ」事業/実施済み
 - ・アーティスト山本耕一郎組長のプロデュースにより、菱刺しワークショップ、組員によるまちぐみ大学、１年の活動を紹介するアーカイブ展など様々な活動が生み出されている。（はっち）
- ウ) 美術館「アートファーマー」事業<<新規>>/実施済み
 - ・美術館を起点にアートを介して地域社会を育む様々な取組を、アートファーマー（市民等）との協働により実施する。（美術館）

<施策6> あつめる・ひろめる～連携のソフトインフラ～

【施策の基本的な考え方】

1. 八戸ならではの新しい公共（公民連携）のあり方を模索
2. 自治体間の広域連携の推進
3. 文化芸術活動を存続させるための企業等の理解と事業資金の確保

○取組方針1 連携・協働を推進するプラットフォームづくり

① 現在取り組んでいる主な事業

はちのへ文化のアドバイザリーボード及び庁内関係課連絡会議の開催。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) (仮称) 八戸アートプラットフォームの設立と当該プラットフォームによる文化芸術に関するセミナーや実践講座等の実施<新規>／検討中
 - ・令和4年度中に事務局を設置し、文化政策にかかる講座等の勉強会を開催（文化創造推進課）
- イ) 市内で活躍するアーティスト等の見える化とシーズとニーズの効果的なマッチングを図る（仮称）アーティストバンクの設置と運用<新規>／検討中
 - ・上記ア) の取組を通じて設置、運用を進める。また、市教育委員会も中学校の部活動の地域移行にかかる検討会議を立ち上げたことから連携して取り組む（文化創造推進課）
- ウ) 文化行政に関して関連する行政分野との連携調整を図る庁内連絡会議の設置／実施済み
 - ・必要に応じて会議、聞き取りを行い、分野横断的な取組を推進する（文化創造推進課）

○取組方針2 青森県や近隣自治体との広域連携の推進

① 現在取り組んでいる主な事業

青森アートミュージアム5館連携協議会事業や三陸国際芸術祭への参加。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 青森県文化芸術推進計画との事業連携<新規>／検討中
 - ・施策5プラットフォーム事業への協力を検討している。（文化創造推進課）
- イ) 青森アートミュージアム5館連携協議会事業の推進<新規>／実施済み
 - ・令和6年度芸術祭を実施する方向で検討が進められている。（美術館）
- ウ) 広域行政の枠組みである八戸圏域連携中枢都市圏「スクラム8」や北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議での事業連携／未着手（各課）
- エ) 三陸国際芸術祭への参加／実施済み（文化創造推進課）

○取組方針3 事業資金確保の取組や企業メセナの推進

① 現在取り組んでいる主な事業

ふるさと寄付金制度を活用したブックセンターにおけるクラウドファンディングや、公会堂事業基金の活用。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 助成金等事業資金確保手段の多角化と情報提供の充実（見直し・拡充）／未着手（文化創造推進課ほか）
- イ) 新たな資金調達方法としてクラウドファンディングの検討《新規》／一部実施済み
 - ・ブックセンターが市で初めてクラウドファンディングを実施した。他の文化施設・事業においても活用を検討していく。（関係課全て）
- ウ) 市の既存の文化関係基金を統合し、文化財保護の目的を加えた文化振興基金の創設《新規》／未着手
 - ・現状を整理し、早々に検討を行う（文化創造推進課）
- エ) 地場企業が地域メセナ活動への理解を深める機会づくりや文化振興に関するパートナーシップ構築の手法の検討《新規》／未着手
 - ・施策 6(1)プラットフォーム事業の取組を通じて検討を進める。（文化創造推進課）